

動画はこちらから→



# 町の減災・防災対策を問う

## 各事業の継続と対策強化につとめていく



災害対策本部室となる町防災センター

**質問** 令和6年元日、石川県能登地方を震源とし、最大震度7を観測した地震が発生しました。特に石川県では甚大な被害となりました。当町においても、東日本大震災の教訓、町で発生した豪雨災害などをふまえ、有事に備え、福祉避難所や防災センターの整備をはじめ、様々な訓練、備蓄、協定

などハード・ソフト両面で減災、防災の取組みをされてきたと思います。この度の「令和6年能登半島地震」を教訓として、今後どのように取り組むのかお伺いします。

また、①職員の登庁訓練について。②断水時の井戸の活用への考えは。③住宅の耐震化率について伺います。

町長 当町は、新庄盆地断層帯に属する活断層帯として、舟形断層、沖の原断層、長者原断層の上に位置し、2024年1月15日、文部科学省地震調査研究推進本部の公表によると、30年以内地震が発生する確率は5%以下で、最大震度は6強と想定され、確率3%以上の断層帯は全国的に最も確率の高い断層帯と位置づけられております。

このことから当町でもいつ地震が起こってもおかしくない状況にあると考えています。

被害をできる限り減らすため、(1)災害に強いまちづくりとして、防災センター、福祉避難所の建設、町公共施設の耐震化、(2)災害に強い人づくりとして、各町内会と自主防災組織による避難訓練の実施、防災士資格取得者の増(3)災害に強い体制づくりとして、町防災計画の見直し、初動体制マニュアル、受援計画の作成を行いました。

①職員の登庁訓練について夜間・早朝訓練も必要と考えている。②断水時の井戸水の活用について、災害時には有効的であると認識している。③

町住宅耐震化率は平成27年度で58.8%と推計。



災害用備蓄倉庫（町防災センター）

定例会において、各議員が住民の代表として行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する、議員の重要な活動です。(持ち時間は議員ひとりにつき40分)

いとう ひろよし  
**伊藤 廣好 議員** 11ページ

★1 町の減災・防災対策を問う



あらさわ ひろみつ  
**荒澤 広光 議員** 12ページ

★1 がん検診受診率・現状と課題は



おぐに ひろふみ  
**小国 浩文 議員** 13ページ

★1 町内のATM対応は  
★2 水田活用交付金見直し問題は



いとう きんいち  
**伊藤 欽一 議員** 14ページ

★1 新たな交流の取り組みを  
★2 検査料金の負担軽減の拡充を



おくやま けんぞう  
**奥山 謙三 議員** 15ページ

★1 公共施設等の適正管理を問う



さとう ひろゆき  
**佐藤 広幸 議員** 16ページ

★1 農家の支援と農地の将来について



かなうち まさき  
**叶内 昌樹 議員** 17ページ

★1 地域の課題や活性化、その先は・・・  
★2 人口減少問題で空き家の活用は



やくわ ふとし  
**八鍬 太 議員** 18ページ

★1 水田農業の今後をどう考える



# 一般質問に8人が登壇

# 町政を問う

〈一般質問 掲載要綱〉

- 一般質問本文への掲載件数は、2件以内で3件目はタイトルのみ掲載。
- 本文の字数は、質問300字以内、答弁は500字以内のため、内容を要約して掲載。
- ★マークのついた内容を一般質問本文へ掲載。